

## 北九州市こどもプラン(素案)に対する意見&lt;抜粋&gt;

## ■総論

【意見】	【こども】
<p>三つの考え方のもとで、[こどもまんなか city]が実行されたら北九州がとても過ごしやすくなると思います。そのためには、「こどもまんなか社会」の内容が、北九州全体にいきわたる必要があるので、まず、それを行ったらいいと思いました。</p> <p>僕が一番いいと思ったのがパンフレットの中の①、「こどもまんなかに、子育てをもっと楽しく」です。私たち子どもが、親や地域、北九州全体の人に、私たちの成長を応援してくれたら、私たちは北九州のこと、皆さんのことが大好きになると思います。そして、そのポカポカ言葉を大人になっても忘れないで、大人になったら子供の成長を応援してあげる。それが繰り返されれば、北九州市はポカポカ言葉でいっぱいになると思いました！</p>	
【市の考え方】	
<p>「こどもまんなか city」の実現に向け、6つの視点に立ち、3つの基本方針に基づく15の基本施策に取り組むことで、子どもたちや子育て世代の皆さまが住みやすい北九州市をつくっていきます。</p>	

【意見】
<p>まず前提の話として少子高齢化をどうするか？という問題に向き合う所からではないかと思います。それは何故かと言うと北九州市は第二次産業を主に成長して来ましたが、市内生産性は福岡市の約半分しかなく第三次産業の成長率も著しく低い数値が出ています。鉄の街北九州はこれから先の未来に対して今後も安定した鉄の需要供給が成り立つかは不透明で、その対策として今後は第三次産業にも注力をして行く必要があると思います。この第三次産業を成長させる事が結果的に人口流出や少子高齢化の歯止めではなく改善に成るのではないかと考えています。</p> <p>今、目先の子ども問題に取り組む事も重要ではありますが、問題の本質を正さなければ問題の表面しか解決出来ず、数年後には同様の問題が発生するでしょう。</p> <p>だからこそ、今と未来について同時進行で問題に向き合う必要があると思います。</p>
【市の考え方】
<p>少子高齢化については、こども・子育て施策に限らず、産業競争力の向上や生活環境の充実など、都市の総合力を高めていくことが不可欠です。北九州市の基本構想・基本計画のもと、当計画も含めた様々な分野別計画に基づき、中長期的な視点で対策に取り組んでいきます。</p>

## ■意見表明

【意見】	[こども]
素案の1番の「こどもたちの意見を大切にします。」についてです。みらい政策委員会に参加させていただいたのですがすごくいい場だと思うので、これ以外にも行政に向けたこども目線からの意見を言えるプラットフォームや各中学・高校の生徒会が集まり、市について話し合う場などを設けていただくと、より政治や北九州市への関心が強まり、こどもまんなかシティに近づけると思います。	
【市の考え方】	
引き続き、みらい政策委員会などこどもまちづくりに参画し、意見を市政に反映できるよう取り組んでいきます。	

## ■こどもまんなかの意識醸成

【意見】	[こども]
今北九州市がどのようになっているか、そして、今北九州市こどもまんなかスイッチという取り組みを知れて自分もそれに関係するイベントなどに参加したいなと思いました。さらに、今回の機会を通して「にこにこスイッチ」や「子供と同じ目線」、「愛情いちばん」、「大丈夫」、「ありがとう」が大切だということをこの学習で知りました。	
【市の考え方】	
「北九州市こどもまんなかスイッチ！」について、さらに知っていただくよう、周知啓発に取り組めます。	

## ■公園

【意見】	[こども]
・公園でボール遊びなどが安全にできるようにしてほしいです。 ・幼稚園児から高齢の方まで遊べたり、休憩できる公園を増やしたらうれしいです。 ・公園は小さい子用と小学生でわけてほしい、公園の決まりを作ってほしいです。 ・放課後などに子どもが安全、安心にすごせるような場所(公園など)づくりをするのはいいと思います。	
【市の考え方】	
公園はこどもだけでなく様々な方が利用するため、ボール遊びについてはこどもや地域の方の意見を聞き、利用時間や場所などのルールを設けて、みんなが使いやすい公園づくりを目指していきます。	

## ■母子保健

【意見】	[こども]
お母さんが妊娠したときに相談できる場所をつくったり、地域の人たちで支えていくのが安心して赤ちゃんを産むことができると思うのでいいなと思いました。	
【市の考え方】	
妊娠や子育てに不安を抱える方も、安心して出産・子育てができるよう、専門の職員が相談に応じるなど、必要な支援を行います。また、子育てで孤立することがないよう地域での活動などを通じてサポートする取組もを行います。	

## ■保育

### 【意見】

園児の保護者の職業が多岐に渡る現状から、保育施設の利用終了時間の延長希望は、お母さんやお父さんの子育てを助けるサービスが必要であるということではないかと考えます。

### 【市の考え方】

保護者が安心して働くことが出来るよう、子育て当事者のニーズに寄り添ったサービスを検討します。

## ■居場所

### 【意見】

現在夫婦ともに働いています。小学生のうちには学童があるので、遅くなっても安心して仕事をする事ができています。中学校に上がったときにも、どこか安心できる大人がいる場所で、放課後過ごすことができたらいいなと感じます。

### 【市の考え方】

市民センターといった既存施設の利用のほか、民間事業者等と連携し、一部空間を勉強等ができるスペースとして提供いただく「こどもまちなかスペース」の取組を進めていきます。

## ■相談体制

### 【意見】

相談場所やホットラインなど記載していただいている参考になると思いますが、これを悩んでいる若者たちに周知する方法をしっかりと考えていただきたいと思います。

学校や学童へのポスター掲示はすでにしていると思いますが、チラシを小中学校高校生全員に配布するような周知をしてはどうでしょうか。一度だけではなく、何度も繰り返すことが必要かもしれないと思います。

### 【市の考え方】

子ども・若者応援センター「YELL」では、パンフレットの配布やポスター掲示のほか、市政だよりや様々なホームページへの掲載、SNSでの周知を行っています。

また、24時間子ども相談ホットラインを周知するため、名刺サイズのカードを作成し、市内の小中学校、高校及び特別支援学校の全校生徒を含め、生徒の保護者にも、毎年配布しています。このカードには、虐待・いじめ・不登校で困っているなど、あなたの不安や心配について相談員と一緒に考えていく旨を記載し、あわせて、ホットラインの電話番号等を掲載しています。

こころの相談電話については、高校生へ毎年12月頃に相談場所について記載した啓発チラシを配布しています。

いただいたご意見を参考にしながら、今後とも様々な広報・啓発活動を進めていきます。

## ■多様な体験

【意見】	[こども]
<ul style="list-style-type: none"><li>・自然が楽しめるような場所をもっとつくって欲しいです。</li><li>・自然を大切に作る取り組みを行って欲しいです。</li><li>・私は、居場所づくりや体験活動も、と言う意見がとてもいい事だと思います。その理由は、安全に色々な事を体験してこれはこんなに楽しい事なんだと知ってほしいからです。</li></ul>	
【市の考え方】	
自然に触れあいながら自由な発想で遊ぶプレーパークや大自然の中での野外活動、またボランティア活動などを通じて、こどもの心身の育成に取り組みます。	

## ■経済的支援

【意見】
私が北九州市に望むのは、東京都や福岡市のように、北九州市でも子どもの習い事の助成をしてもらえないかということです。
ただこの12月に娘がインフルエンザAになり、1週間後にわたしもインフルエンザ感染してしまい、12月は2週間全く働けず収入がない状況でした。娘もまだ幼いため、普段はパートで最低限の生活費を稼いでいる状況ですが、今回のように体調不良等で連日働けない日が続くと収入が激減するのが、母子家庭・アルバイトの厳しい現実を実感しているところです。
今は娘の習いたいことを尊重させていますが、このように突然収入が減ることがあるとそれも続けることが難しいのが現実です。
【市の考え方】
東京都や福岡市などがこどもの習い事への貸付や助成を実施していることは承知しています。限られた財源の中で、こどもや子育て世帯に向けた支援をどのように展開していくか様々な議論を重ね、進めているところです。市民の方の貴重なご意見として承ります。

## ■子育てサポート体制

【意見】	[こども]
<ul style="list-style-type: none"><li>・お母さんが困らないように児童クラブが夏休みなどにお昼ご飯を出せばいいと思います</li><li>・私は、学童保育に通っているけどお昼ご飯の注文をすべての学童保育で行って欲しいです。なぜかというとお母さんは、朝早くから私のために起きて弁当を作ってくれているので、もっとゆっくり起きてほしいからです。</li></ul>	
【市の考え方】	
放課後児童クラブの利用者の負担を軽減するため、学校の長期休暇中のお昼の弁当を注文・配送する仕組みを各クラブに広げていきます。	

## ■共働き共育て

【意見】	[こども]
働くお母さんやお父さんが仕事も子育ても楽しくできたら、北九州市が明るくなるんじゃないかな、と思いました。	
【市の考え方】	
働く保護者が仕事と子育てを両立し、ワーク・ライフ・バランスを実現できる環境づくりに努めます。また、安心して働くことができるよう、延長保育や病児保育に取り組むほか、子育て当事者のニーズに寄り添ったサービスを検討・実施します。	

## ■キャリア教育

【意見】	[こども]
・子どもたちが、この町で将来やりたいことや仕事が見つかるよう、学べる・体験できる場を作るのがいいと思いました。	
・仕事体験ができる場所を作って欲しいです。	
・子供のうちから仕事など学べたり体験できたりすることはとても嬉しいです。将来どんな職業につきたいのか考える機会になって嬉しいので、たくさん体験する機会を作ってほしいです。	
【市の考え方】	
様々な地元企業の仕事を知り、職業体験できるような取組(イベント等)や、地元企業の人などから仕事や職業について学ぶ出前授業を引き続き実施してまいります。	